

2016年10月5日
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ
株式会社 Zepp ライブ

日本の伝統文化と音楽を融合させた季節型フェス 『KYOTO NIPPON FESTIVAL』の開催を決定！



株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント（本社：東京都千代田区、代表取締役：水野道訓）、株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：高橋章・中山道彦）、株式会社 Zepp ライブ（本社：東京都港区、代表取締役：杉本圭司）の3社は、京都市、エフエム京都、華道家元池坊、北野天満宮、京都吉兆、立命館大学等と「KYOTO NIPPON FESTIVAL 実行委員会」を設立し、日本の伝統文化と音楽を融合させた新しい形のフェスティバル『KYOTO NIPPON FESTIVAL』の継続的な開催に取り組んでいくことを決定いたしました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を受けて、現在、世界からの日本に対する関心は、ますます高まりつつあります。この機を捉えて、日本の伝統文化の中心地であり世界一級の観光都市である京都から、世界に向けて音楽、アート、食文化、さらには数々の日本の伝統文化の魅力を広く発信し、日本への理解を深め、誘客促進を目的とする新たなインバウンド事業を展開してまいります。

その第一回目となる『KYOTO NIPPON FESTIVAL - Autumn Leaves 2016 -』を、2016年12月3日（土）、4日（日）に、学問の神様・菅原道真公を祀る全国天満宮の総本社・北野天満宮と、その門前で栄華の時を刻む花街文化の象徴・上七軒歌舞練場を会場として開催することを決定いたしました。3つのステージには2日間で計15組以上の多種多様なアーティストが出演。また、京都吉兆がプロデュースするフード&カルチャーコートには、名だたる名店が軒を連ね京都の食材を活かした逸品を通じて食文化の体験の場を提供します。そして、2017年に創設555周年を迎える華道の大家・池坊の次期家元によるオープニングセレモニーや、池坊の講師陣によるいけばな教室の開設、名門・立命館大学による外国人観光客向けの漢字ワークショップの開催など、ステージ、ワークショップ、フード&カルチャーコートなどを通じて、多種多様な日本文化を、文化財を背景に堪能できる機会となります。

「古都より世界へ、そして未来へ。」をキーワードに、京都の四季折々の季節と寄り添いながら、『KYOTO NIPPON FESTIVAL』を継続的に、京都の名所・名跡・伝統文化とゆかりの深い場所で開催してまいります。

記

【開催概要】

- 正式名称：KYOTO NIPPON FESTIVAL ～Autumn Leaves 2016～
(キョウト ニッポン フェスティバル オータム リーブス ニセンジュウロク)
- 日程：2016年12月3日(土)・4日(日)
- 会場：北野天満宮 (京都市上京区馬喰町)
上七軒歌舞練場 (京都市上京区今出川通七本松西入真盛町 742)
- チケット料金：北野天満宮 紅梅殿 指定席 6,000 円(税込) / 立見(ブロック指定) 5,500 円(税込)
上七軒歌舞練場 12月3日(土) 1階指定席 8,600 円(税込)
12月4日(日) 1階指定席 7,800 円(税込)
※上七軒歌舞練場の1階栈敷席、1階補助席、2階栈敷席、2階補助席については後日発表
※公演当日のみ、チケット提示で北野天満宮 もみじ苑 (入苑料 700 円) および宝物殿
(入館料 300 円) が無料で観覧できます。
- 企画制作：ソニー・ミュージックエンタテインメント
- 運営：キョードー大阪 / ゼクシード
- 主催：KYOTO NIPPON FESTIVAL 実行委員会
実行委員会：京都市 / 京都市観光協会 / 京都文化交流コンベンションビューロー / エフエム京都 /
北野天満宮 / 華道家元池坊 / 京都吉兆 / 立命館大学 / ソニー・ミュージックエンタテインメント
/ ソニー・ミュージックアーティスト / Zepp ライブ
- 公式 HP：<http://www.kyotonippon.com>

【チケット発売】

- 先行チケット受付日：2016年10月5日(水) 17:00～10月12日(水) 23:59 (チケットぴあ受付)
- 一般チケット発売日：2016年11月5日(土) 10:00～ (各プレイガイド)

【出演アーティスト】

- 北野天満宮 紅梅殿
12月3日(土) 開場 16:30 開演 17:00 大橋トリオ / 片平里菜 / 川畑 要(CHEMISTRY)
12月4日(日) 開場 16:30 開演 17:00 安藤裕子 / bird / 向井秀徳アコースティック&エレクトリック
- 上七軒歌舞練場
12月3日(土) 開場 18:00 開演 18:30 「松本隆の世界 ～風のコトダマ～ 京都 session」
プロデュース：藤舎貴生(横笛奏者)
出演：松本隆(作詞家) / 若村麻由美(役者) / クミコ(シンガー) / 藤舎貴生(横笛奏者)
12月4日(日) (第一部) 開場 14:00 開演 14:30 (第二部) 開場 18:00 開演 18:30
「矢野顕子 ふたりでジャンボリー」ゲスト：上妻宏光
- 北野天満宮 神楽殿
12月3日(土)、12月4日(日) とともに後日発表

【カルチャー企画】

■華道家元池坊による企画

- ・＜12月3日オープニングセレモニー＞次期家元 池坊専好氏によるいけばな披露
 - ・＜ワークショップ＞池坊いけばな体験教室
 - ・＜ディスプレイ＞華道家元池坊 京都支部によるいけばな作品の展示
- ※時間、場所、参加方法等の詳細は後日発表

■立命館大学による企画

- ・＜ワークショップ＞参加者もしくは担当スタッフが、参加者の名前を古代文字で書き、グッズにして持ち帰っていただく漢字体験企画。外国人の方の場合は、当て字で作成。漢字をテーマにしたゲーム・白川静先生の紹介。
- ※時間、場所、参加方法等の詳細は後日発表

■吉兆による企画

- ・＜フード&カルチャーコート＞京都吉兆総料理長徳岡邦夫氏プロデュースにより、名だたる名店が渾身の逸品を提供するフードコートが北野天満宮の駐車場エリアに出現。京都の食材によるフレンチ、イタリアン、中華、和食など、各国料理の食文化をはじめ、お香体験や日本茶のテイスティングなど、多種多様な日本文化体験ができるエリアを展開。
- ※入場無料。参加店舗などの詳細は後日発表。

以 上

※「KYOTO NIPPON FESTIVAL」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標または商標です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

【報道機関からのお問い合わせ】

株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ 中村美保己・齊藤美帆
TEL：03-5414-7327 FAX：03-5414-0961
E-mail：knf@sma.co.jp

【お客様からのお問い合わせ】

公演に関して：キョードーインフォメーション 0570-200-888（10：00～18：00）
チケットに関して：Zepp ライブ 03-5575-5170（平日13：00～17：00）

<資料>

会場について

■北野天満宮

北野天満宮は、学問の神様・菅原道真公を御祭神としておまつりする全国約1万2000社の天満宮、天神社の総本社。

境内西側には、紙屋川に沿って豊臣秀吉公が洛中洛外の境界と水防のために築いた土塁「御土居」の一部と自然林が残り、毎年行われるもみじ苑の時期になると、約300本の紅葉が色鮮やかに装い、京都屈指の景勝地として美しい景観をあらわす。

<もみじ苑 2016年度 開催概要>

開催日：10月25日（火）～12月4日（日）

ライトアップ期間：11月12日（土）～12月4日（日）

入苑時間：9:00～16:00（ライトアップ期間中は20:00まで）

入苑料：大人700円／子ども350円（茶菓子付）



■上七軒歌舞練場

上七軒（かみしちけん）は、京都市上京区真盛町から社家長屋町に位置する日本最古の花街。

歌舞練場は、花街にとっての中心的な存在で、京都の花街にはあり 歌舞練場というのは、

「練習の成果を披露する」——芸を練る場所、といわれる。

建物自体は、明治の中頃に建てられ、増改築などを繰り返して、昭和26年には現在の姿になったという。400席超という規模のある木造の劇場が現存している例は国内でも少ない。



カルチャー企画について

■『心を伝える』 池坊いけばな (池坊からのメッセージ)

池坊の家元と、いけばなに関することが初めて歴史上の文献に記されてから、2017年で555年を迎えます。池坊の555年の歴史は絶えず変化をとげ、未来を創造し続けてきました。池坊の理念、それは、草木それぞれが持つ美しさを感じ、敬虔な心をよせて花をいけることで、自らの心も磨かれるところにあります。

今回の「KYOTO NIPPON FESTIVAL」では、華道家元池坊 次期家元 池坊専好が、オープニングで池坊いけばなの真髄を披露いたします。そしてワークショップでは、池坊いけばな体験教室を開催します。

我々が伝えたい心、それは、花をいける喜びです。奥深さと温かさのある伝統文化『心でいける 池坊いけばな』を体験していただき、花をいける喜びを全ての方々に感じていただきます。

日本を代表する伝統文化の一つである『いけばな』、日本の豊かな心の文化を未来に伝え続けます。



池坊

■『京都とともに』 立命館大学 (立命館大学からのメッセージ)

立命館の歩みは、近代日本の代表的政治家・西園寺公望が、20歳の若さで私塾「立命館」を開設したことに始まります。建学の精神は「自由と清新」。以来、常にイノベティブであることを目指してまいりました。

京都で生まれ、京都に育てていただいた立命館。「京都らしさ」を守り、育て、世界に発信することが、私たちの使命です。

今回「KYOTO NIPPON FESTIVAL」では、文化勲章受章者 故・白川静の名を冠した白川静記念東洋文字文化研究所を擁する立命館大学ならではの漢字ワークショップを開催。楽しみながら漢字に親しんでいただく機会を提供します。



RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

■『日本料理伝承』 京都吉兆 (京都吉兆からのメッセージ)

吉兆は昭和5年、大坂の新町で小さな日本料理の店を始めました。それ以来、日本料理一筋に研鑽を重ねてまいりました。茶懐石を基本に季節の素材を吟味し、器・空間・おもてなし全てに心を込めてご満足頂けるお店作りを心がけ、日本料理を日本・世界に発信し続けます。今回「KYOTO NIPPON FESTIVAL」では、イベント限定料理を提供致します。味覚だけでなく五感全てで美味しさを感じて頂き、日本料理の素晴らしさをお伝えできればと思っています。



京都
吉兆
KYOTO KITCHO

出演アーティストプロフィール ※五十音順

■上妻宏光



茨城県出身。6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝するなど、純邦楽界で高い評価を得る。
ジャンルを超えた国内外アーティストとのセッションは各方面から注目を集め、世界各国で公演を行う。
2013年安倍内閣総理大臣主催の「TOKYO2020 公式夕食会」、「第5回アフリカ開発会議 公式首脳晩餐会」では日本を代表して演奏を披露。
2014年津軽三味線奏者としては初めて、市川海老蔵の本公演に作曲、演奏にて参加。新世代津軽三味線奏者の第一人者である。

■安藤裕子



シンガーソングライター。2003年デビュー。
類い稀なソングライティング能力を持ち、独特の感性で選ばれた言葉たちを、熱量の高い歌にのせ歌う姿は聴き手の心を強く揺さぶる。CDジャケットのデザインや、Music Videoの監督まで手がける多彩なセンスにも注目が集まる。

■大橋トリオ



ピアノ・ギター・ベース・ドラムなど、あらゆる楽器をこなすマルチプレイヤー。ジャズ及びアコースティックをベースに、映画やドラマ、CMなどの音楽制作、アーティストら（小泉今日子、SMAP、山下智久ほか）への楽曲提供、アレンジプロデュースなど幅広く活動中。2009年5月に大橋トリオとしてエイベックス・リズムゾーンよりメジャーデビューする。精力的にアルバムリリース、2016年2月、通算10作目となるアルバム『10 (TEN)』をリリースし、各地ソールドアウトとなった全国15公演のツアーを行った。

■片平里菜



福島県福島市出身 24歳シンガーソングライター。
「閃光ライオット2011」にて審査員特別賞を受賞。2013年メジャーデビュー。
2ndアルバム『最高の仕打ち』はオリコンウィークリーチャートTOP10入り。
2017年には初の東阪ホールツアーも決定している。
日本人女性初のギターブランド エピフォンの公認アーティストとして認定され、福島・東北から全国へさらなる活躍が期待される若手女性アーティストである

■川畑 要(CHEMISTRY)



1979年1月28日生まれ、東京都葛飾区亀有出身。
テレビ番組オーディションで、堂珍嘉邦とともに約2万人の候補者のから選ばれ、ヴォーカルデュオ CHEMISTRY として、2001年3月7日にデビュー。
2012年10月シングル「TOKYO GIRL」でソロデビューを果たし、シンガーとしての活動のかたわら、ドラマ、朗読劇、ミュージカルに挑戦するなど音楽以外にも活動のフィールドを広げている。
2016年3月にデビュー15周年を迎えた

■bird



グルーヴィな歌声と独創性に満ちた楽曲で、ジャンルを選ばず音楽ファンを魅了するシンガー&ソング・ライター。1975年 京都出身。
大沢伸一/MONDO GROSSO 主宰レーベルより『SOULS』で1999年デビュー、1stアルバム『bird』は70万枚突破。
ゴールドディスク大賞新人賞獲得。伸びやかな歌声を武器に、ジャンルの垣根を越えて活躍するその姿勢はライブも含め音楽ファンから高い評価を得ている。2015年には、10枚目となるオリジナル・アルバム『Lush』発売。

■松本隆「松本隆の世界 ～風のコトダマ～ 京都 session」プロデュース：藤舎貴生（横笛奏者） 出演：松本隆(作詞家)／若村麻由美(役者)／クミコ(シンガー)／藤舎貴生(横笛奏者)



「ルビーの指輪」「赤いスイートピー」等、数々のヒット曲を生み出し日本のポップス界を牽引してきた稀代の作詞家松本隆が、その一方で日本の古典作品、「源氏物語」、「古事記」をも手掛けてきた。それらを俳優若村麻由美、歌手のクミコ、日本楽器でその世界を表現し、松本隆を新たな形でフューチャーする初の試み。松本自身もトークセッションに参加。横笛奏者藤舎貴生プロデュースのスペシャルステージがここ京都にやってくる。

■向井秀徳アコースティック& エレクトリック



1995年 NUMBER GIRL 結成。99年「透明少女」でメジャー・デビュー。2002年解散後、ZAZEN BOYS を結成。自身の「MATSURI STUDIO」を拠点に国内外で精力的にライブを行い、現在まで5枚のアルバムをリリース。
2009年、映画『少年メリケンサック』の音楽制作を手がけ、第33回日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。2010年、LEO 今井と共に KIMONOS を結成。2012年、ZAZEN BOYS 5th アルバム『すとーりーず』をリリース。

■矢野顕子



青山学院高等部在学中よりジャズクラブ等で演奏、10代の頃からティンパン・アレイ系のセッションメンバーとして活動を始め、ニューミュージック黎明期の欠かせない顔となる。1976年にアルバム『JAPANESE GIRL』でデビュー以来、YMOとの共演や、ソロとしての活動の他に、レイ・ハラカミ、森山良子、上原ひろみとの共演など、様々なジャンルのアーティストとのコラボレーションを行う。2016年はソロデビュー40周年となり、11月30日にはVICTOR SPEEDSTAR RECORDSよりオールタイムベスト盤をリリース。

以上